

環境経営レポート



ASA
I
Wood Materia



®環境省

エコアクション21
認証番号0012737

アサイウッドマテリア株式会社

対象期間：第72期 2024年度
(2024年7月～2025年6月)

～目次～

1. 組織の概要.....	3
2. 経営理念.....	4
3. 環境・品質方針	5
4. 環境経営対象組織図.....	6
5. 環境経営の役割・責任・権限.....	7
6. SDGsへの自社の取り組み…	8
7. 環境経営目標.....	12
8. 環境経営目標及びその実績（2024年7月～2025年6月）	13
9. 環境経営計画及び取り組み結果とその評価.....	18
10. 環境関連法規等の遵守及び評価の結果.....	20
11. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果	21
12. 全体レビュー.....	22

1. 組織の概要

名称及び代表者	アサイウッドマテリア株式会社 代表取締役 浅井勇詞		
ホームページ	コーポレートサイト : https://gouhan.shop/ 製品サイト「アサイ合板市場」 : https://gouhan.shop/online/		
所在地			
【本社・本社工場】 〒490-1428 愛知県弥富市竹田三丁目228番地 ☎0567-52-2101			
【弥富工場】	〒498-0066 愛知県弥富市楠二丁目7番地	☎0567-68-1510	
創立年	1920年		

環境管理責任者及び担当者連絡先

【環境管理責任者】	管理部 佐野 孝子	☎0567-52-2101
【環境管理担当者】	管理部 有馬 翔子	☎0567-52-2101

事業内容

合板卸、造作材製造及び加工

事業の規模（2025年6月現在）

【資本金】9,000万円

【売上高】128,484万円

	本社（管理部）	本社工場	弥富工場	合計
従業員数	5名	18名	10名	33名
延べ床面積	406m ²	9480.403m ²	3980.025m ²	13866.428m ²

事業年度 7月1日～6月30日

対象範囲

対象組織・・・本社・本社工場、弥富工場

対象活動・・・事業内容と同じ

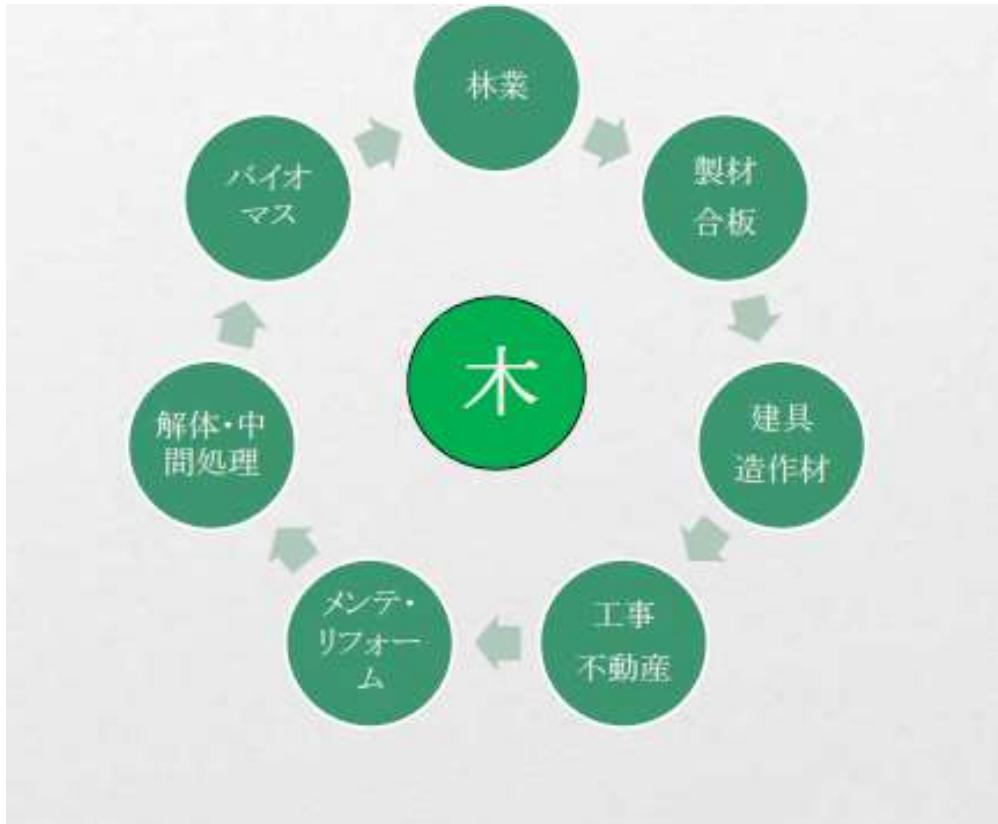
レポートの対象期間・・・ 第72期 2024年度（2024年7月1日～2025年6月30日）

発行日・・・2025年8月20日

改訂日・・・2025年8月20日

2. 経営理念

私たちは、環境との調和を保ちつつ、暮らしに関わる商品・サービスの展開を通して、社会の維持発展と人々の幸せに貢献していきます。



経営理念の解説

1. 事業領域を、「人々の暮らし」を取り巻く分野全般に広げていきます。祖業でもある「木」を事業コンセプトの中心に置きつつも、取り扱う商品やサービスの幅を広げることで、社会と地域への貢献をしていきます。
2. 少子高齢化、地方の過疎化、自然災害等の多発など、現在の日本はさまざまな問題を抱えています。日々の事業活動を通して、「社会」の問題解決、更には「維持発展」に貢献できる企業を目指します。
3. 地域資源の活用や他事業者との連携を積極的に進め、持続可能な社会の実現に貢献します。
4. 天然資源を扱う事業者として、事業活動が環境にとって大きな負担にならないように心掛け、産業廃棄物の削減や省エネルギーに取り組みます。
5. 当社に関わる「人々」の人権に配慮し、一人ひとりが向上の喜びを持つことができる環境を構築します。

環境・品質方針

当社は、環境問題への対応が事業継続に置いて最重要であるとの認識のもと、製造業の要である品質改善と不離一体の活動として進める必要があると考え、方針として掲げ、関連する各部門で目標を設定し推進します。

環境方針

- 地域企業として、環境に配慮したモノづくりを行います。
 - ・ 使用する材料を、植林木や廃材リサイクル品などの、より環境負荷の少ないものにする。
 - ・ 事業所の周辺環境への悪影響を低減する。
- 環境関連の法規制を遵守します。
- 当社が認証を取得している環境マネジメントシステム（EMS）、エコアクション21の運用を通じて、持続的に排出物の削減と省エネに取り組みます。
- 毎年の環境目標と実績について、ホームページ等で広く情報開示をします。
- 環境に関する社員教育を実施し、5S活動を通じて環境美化に努めます。
- 社員の健康促進に配慮します。

品質方針

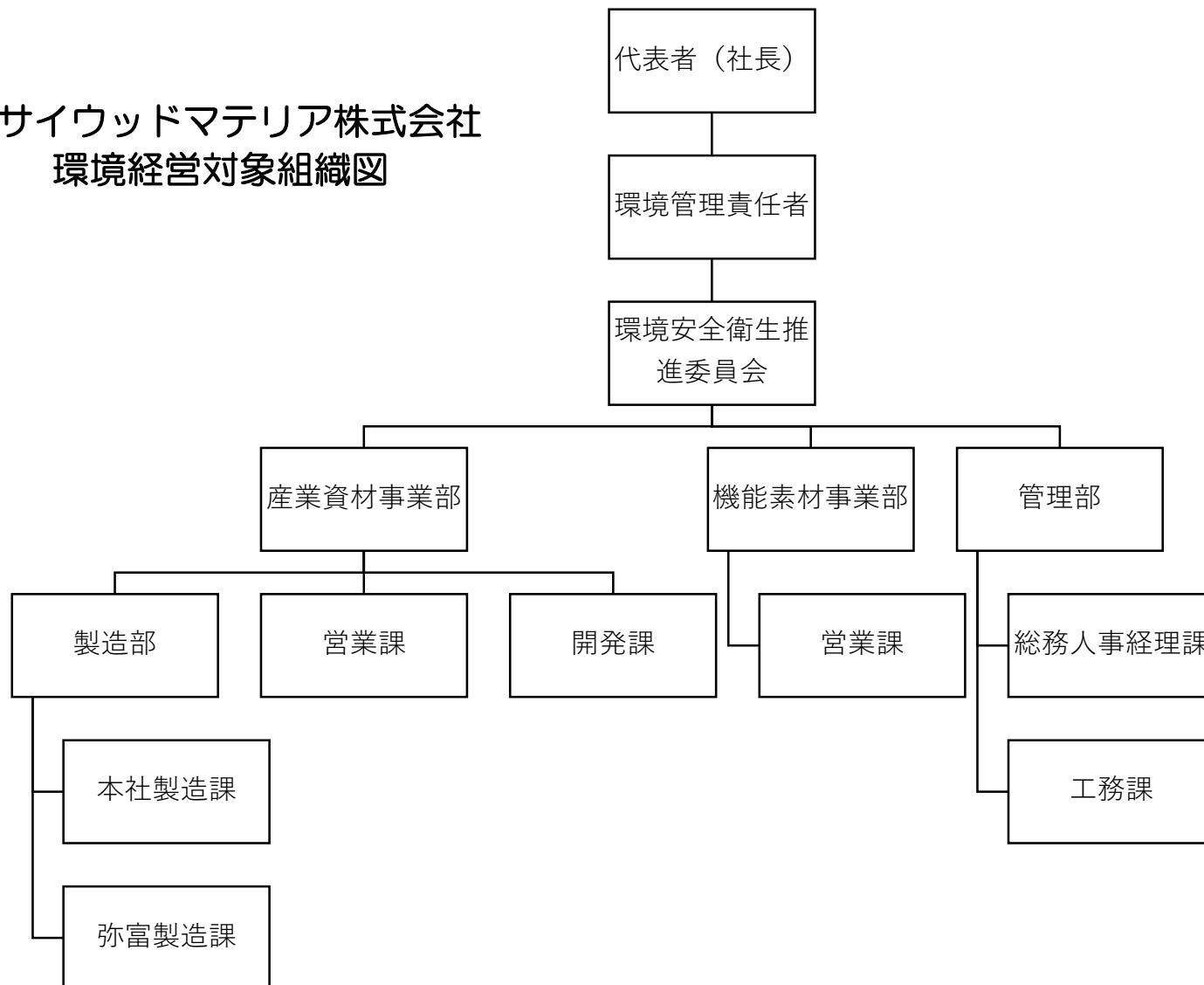
- 品質第一を徹底し、お客様に信頼されるモノづくりを行います。
- 関連する法規制を遵守し、安全な商品を作ります。
- 違法な木材を使用しないように注意を払うとともに、材料のトレーサビリティーを確実に行い、安心な商品を提供します。
- 品質マネジメントシステム（QMS）、ISO9001の運用を通じて、品質追及の努力を続けていきます。
- 品質に関する社員教育を実施し、問題解決能力の向上を図ります。

改定日 2023年6月30日

アサイウッドマテリア株式会社
代表取締役 浅井 勇詞

4. 環境経営対象組織図

アサイウッドマテリア株式会社
環境経営対象組織図



5. 環境経営の役割・責任・権限

代表者（社長）	環境方針の策定 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用を準備 環境管理責任者を任命 環境経営システム全体の評価と見直し・指示 環境目標・環境活動計画書の承認 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理 環境目標・環境活動計画書を確認 環境経営レポートを確認し代表者へ報告 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
環境安全衛生 推進委員会 (事務局)	環境管理責任者の補佐 環境活動の実績集計、評価、及びレポートの作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連活動の外部コミュニケーションの窓口 環境関連の問題点の発見、是正、予防処置の実施 環境目標・環境活動計画書の作成 環境経営レポートの取りまとめ、外部への公表
全従業員	環境方針の理解と、環境への取り組みの重要性を自覚 環境目標・環境活動計画書を理解し実行に移す 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

6. SDGsへの自社の取り組み

①ベトナム人技術者の育成



ベトナム人の技術者を正社員として雇用しています。

今年度は4名のベトナム人技術者が私たち従業員の一員になっていただきました。

日本語検定合格者には報奨金を支給、また入社後は必ずフォークリフト免許取得にチャレンジしており、国境の隔てなく労働ができるよう教育を推進しています。

②従業員の健康促進

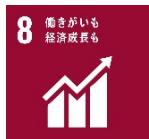


年に一度、全従業員に健康診断を受診していただきます。管理部が医師の指示を仰ぎ、生活指導を行っています。

工場内の喫煙所を1箇所にまとめ、利用者が清掃を行うようにしました。

喫煙所に社内報や交通安全や健康に関するポスターを掲示することで、じっくり内容を読み意識を高めてもらえるように工夫しています。

③5S活動で効率アップ



2023年7月からコンサルタントからの指導を受けながら5S活動を行い、作業場の改善及び生産効率の改善、教育訓練計画の整理を行いました。

2024年7月からも継続してコンサルタントを受け、生産性アップ・会社の業績アップを最終目標にステップアップさせます。今後も会社全体で取り組んでいきます。

④FSC認証製品で環境保護に貢献



封筒などの紙製品を購入する際はFSC認証マークの有無を確認し購入するようにしています。

それだけでなく、自社製品の合板もFSC認証を受けたものを一部使用しており、自社もFSC-CoC認証を受けています。

経営理念の通り、木材を通じて社会の維持発展に貢献できる取り組みであると考えております。

⑤ゴミの分別



ゴミの分別を図で表示するようにしたことで、入れ間違えが減り、仕分けで迷うことが少なくなりました。また「ストレッチフィルム」を確実に分別するようになったため、リサイクルが可能となりました。
産業廃棄物のゴミステーションを製作しさらに細かく分別ができるようになりました。

⑥毎日省エネ活動



部分消灯



ハイブリッドカー



裏紙利用

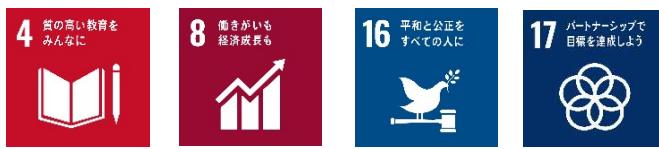


日常的に行なうことができる省エネ活動を続けています。事務所で不在の席や、来客がない日の玄関の消灯を行います。

A4の裏紙を再利用したり、両面印刷や2in1での印刷を心がけ紙の無駄遣いを減らします。

営業車はすべてハイブリッドカー。さらに車内にエコドライブ推進ステッカー等を設置しより環境に配慮できるよう意識することができました。

⑦経営指針発表会



毎年7月に「経営指針発表会」を開催し、前期の振り返り、来期の目標などを各部門で発表します。また12月には「半期報告会」を開催。実績の途中経過を報告し決意を新たにしております。全社での勉強会、優秀社員の表彰なども行います。

⑧避難訓練の実施



今年度の避難訓練は、業務中に被災したという想定で行いました。

機械の非常停止スイッチの場所や正常に作動するかどうかの確認を行った後、避難経路上に危険な箇所がないかどうか確認しながら集合場所まで避難。

その後グループごとに危険だった個所や感想を発表し、防災に対する意識を高めました。

7. 環境経営目標

各年度対象期間：期首7月～期末翌年6月末

項目	年度	基準年度	3年間の目標		
		70期 2022年度 (2022年7月～ 2023年6月)	71期 2023年度 (2023年7月～ 2024年6月) ▲1%	72期 2024年度 (2024年7月～ 2025年6月) 予算修正あり	73期 2025年度 (2025年7月～ 2026年6月) 予算修正あり
CO2排出量合計 (kg-CO2)	目標	547,198.12	464,503.60	459,725.80	454,923.10
	実績	469,956.96	379,727.18	305,933.22	
	電気使用量削減 (kwh)	目標	1,062,022.34	1,257,000.00	1,244,000.00
		実績	1,270,099.00	1,075,083.12	780,168.16
	環境価値電力(kwh) (CO2フリー)	全体の30%		226,863.00	
	ガソリン使用量削減 (ℓ)	目標	5,852.43	2,430.00	2,410.00
		実績	2,458.00	2,388.51	2,290.80
	灯油使用量削減 (ℓ)	目標	1,613.04	1,520.00	1,510.00
		実績	1,543.00	1,354.00	3,848.00
	液化石油ガス(LPG) (kg)	目標	21.24	15.74	15.58
		実績	15.90	24.01	20.00
廃棄物排出量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標	523,028.22	319,000.00	316,000.00
		実績	323,173.00	204,638.00	223,162.00
	産業廃棄物排出量削減 (kg)	目標	20,059.60	17,280.00	17,100.00
		実績	17,455.00	141,280.00	46,280.00
	おが粉等(kg) (リサイクル)	実績			13,600.00
水使用量	水使用量削減(m³) 上水	目標	2,647.98	1,740.00	1,730.00
		実績	1,766.00	1,803.00	2,319.00
	水使用量削減(m³) 井戸水 (※2022年度基準)	目標	4,954.25	6,410.00	6,340.00
		実績	6,475.00	13,920.00	7,463.00
不良率削減(%) ※2023年3～6月基準 不良数/総生産数	目標		0.70%	0.60%	0.50%
	実績	0.83%	1.75%	0.78%	
売上高(円) (目標毎年1.5%UP)	目標	1,670,000,000	1,696,000,000	1,370,000,000	1,637,000,000
	実績	1,671,824,627	1,392,628,810	1,284,845,484	

電力排出計数は、関西電力2023年度排出計数(0.362kg-CO2)

中部電力2023年度排出計数(0.338kg-CO2) 使用

8. 環境経営目標及びその実績（2024年7月～2025年6月）

目標値比 100%以下：○、101～105%：△、106%以上：×

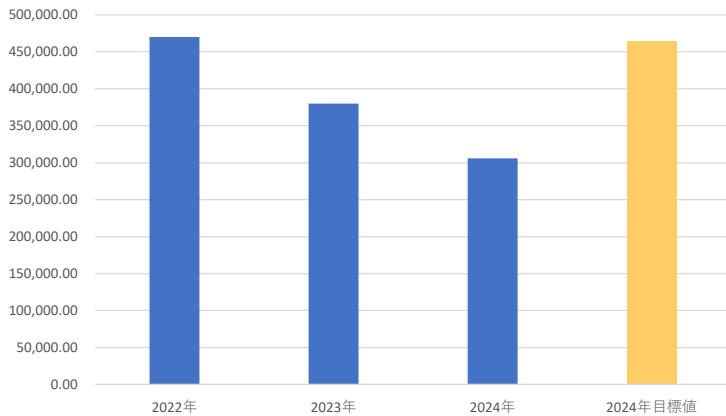
※売上高除く

項目		年度	基準年度	2024年度	目標 数値 比	評 価	2025年度目標
			70期 2022年度 (2022年7月～ 2023年6月)	72期 2024年度 (2024年7月～ 2025年6月) 予算修正あり			73期 2025年度 (2025年7月～ 2026年6月) 予算修正あり
	Co2排出量合計 (kg-Co2)	目標値	547,198.12	459,725.80	67%	○	454,923.10
		実績	469,956.96	305,933.22			
	電力使用量削減 (kwh)	目標値	1,062,022.34	1,244,000.00	63%	○	1,231,000.00
		実績	1,270,099.00	780,168.16			
	環境価値電力 (CO2フリー)	実績		226,863.00			
	ガソリン使用量削減 (1)	目標値	5,852.43	2,410.00	95%	○	2,390.00
		実績	2,458.00	2,290.80			
	灯油使用量削減 (1)	目標値	1,613.04	1,510.00	255%	×	1,490.00
		実績	1,543.00	3,848.00			
	液化石油ガス（LPG）削減 (kg)	目標値	21.24	15.58	128%	×	15.42
		実績	15.90	20.00			
廃棄物排出量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標値	523,028.22	316,000.00	71%	○	313,000.00
		実績	323,173.00	223,162.00			
	産業廃棄物 排出量削減 (kg)	目標値	20,059.60	17,100.00	271%	×	16,930.00
		実績	17,455.00	46,280.00			
	おか粉等 (リサイクル)	実績		13,600.00			
水使用量	水使用量削減（m ³ ） 上水	目標値	2,647.98	1,730.00	134%	×	1,710.00
		実績	1,766.00	2,319.00			
	水使用量削減（m ³ ） 地下水	目標値	4,954.25	6,340.00	118%	×	6,280.00
		実績	6,475.00	7,463.00			
	不良率削減（%） ※2023年3～6月基準 不良数/総生産数	目標		0.60%	130%	×	0.50%
		実績	0.83%	0.78%			
	売上高（千円） (目標毎年1.5%UP)	目標値	1,670,000,000	1,370,000,000	94%	×	1,637,000,000
		実績	1,671,824,627	1,284,845,484			

電力排出計数は、関西電力2023年度排出計数（0.362kg-CO2）

中部電力2023年度排出計数（0.338kg-CO2）使用

CO₂排出量合計 (Kg-Co2)

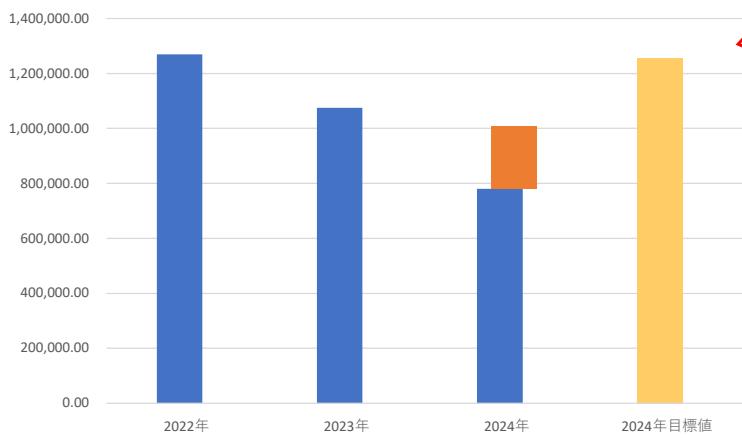


達成

【総評】
目標達成。

全体の電気使用量削減に加え、電力CO₂フリー プラン加入による環境価値電力購入でCO₂排出量の削減につながった。

電力使用量削減 (Kwh)

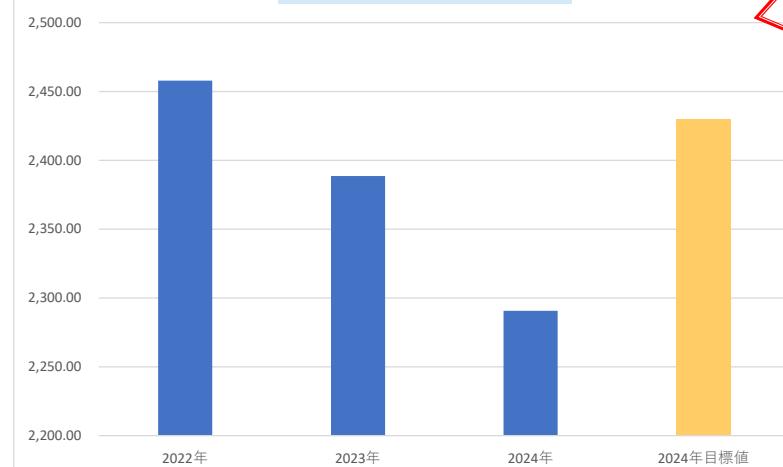


達成

【総評】
目標達成。

全体的に電気使用量が削減できた。
また2024年10月からCO₂フリープランに加入し全体の30%（グラフのオレンジ部分）を環境価値電力として購入することで、環境に負担の少ない電力を使用しCO₂排出の削減をすることができた。

ガソリン使用量削減 (ℓ)

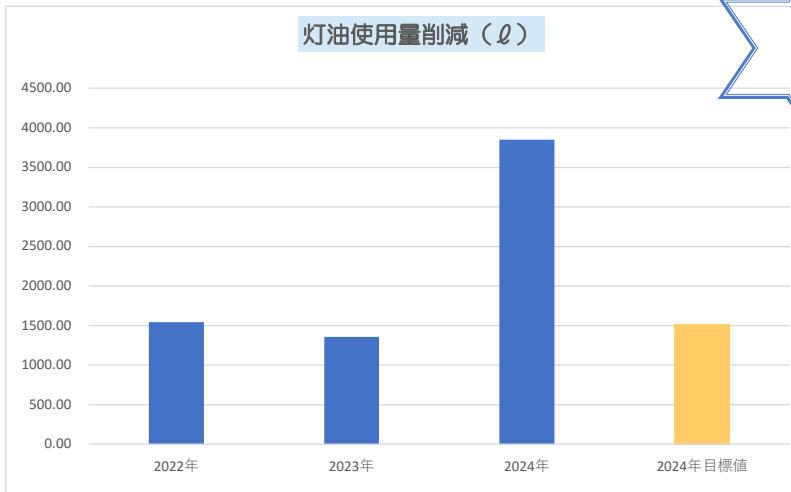


達成

【総評】
目標達成。

前年度から給油3回分程度減少したがほぼ変わりなし。
新事業部（機能素材部）発足により営業のための社用車使用が増える見込みであったが逆に減っているのは課題。

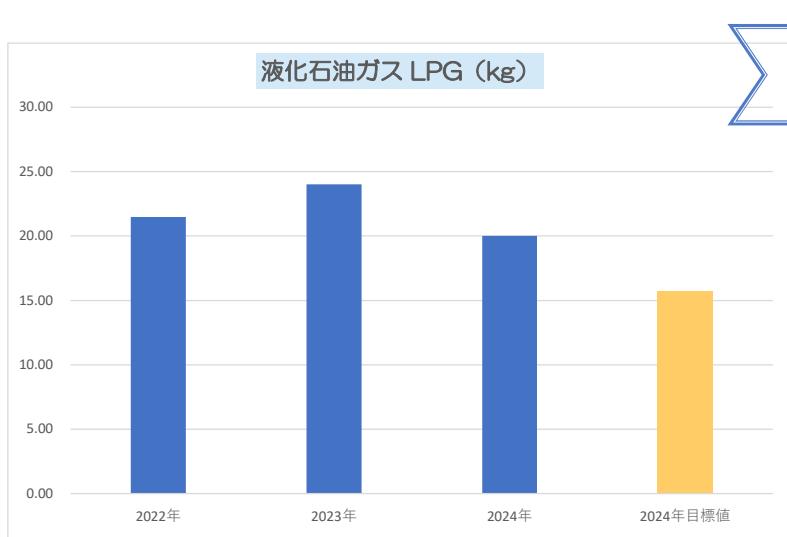
項目	単位	2022年	2023年	2024年	2024年目標値
ガソリン使用量削減	ℓ	2,458.00	2,388.51	2,290.80	2,430.00



【総評】
目標未達成。

現場のジェットヒーターで使用する量が増加した。
12～2月は前年の3倍以上になっている月もあったが、接着剤が固まらないように&従業員の暖を取るために必要な量であるよう見える。
去年までがあまり使用していなかった可能性もあるため、次の三カ年の目標値を再考する。

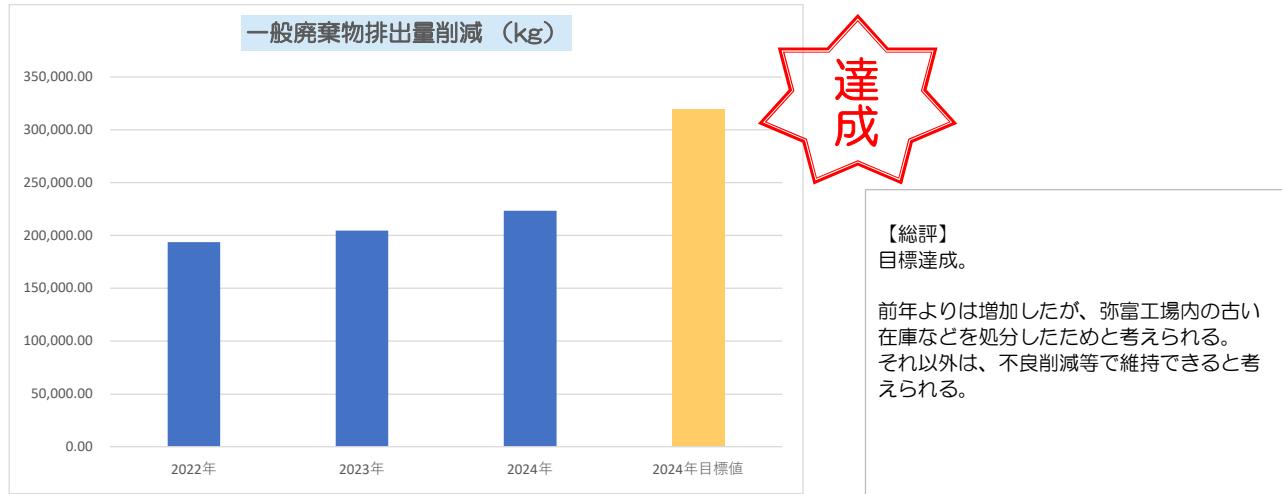
項目	単位	2022年	2023年	2024年	2024年目標値
灯油使用量削減	ℓ	1543.00	1354.00	3848.00	1520



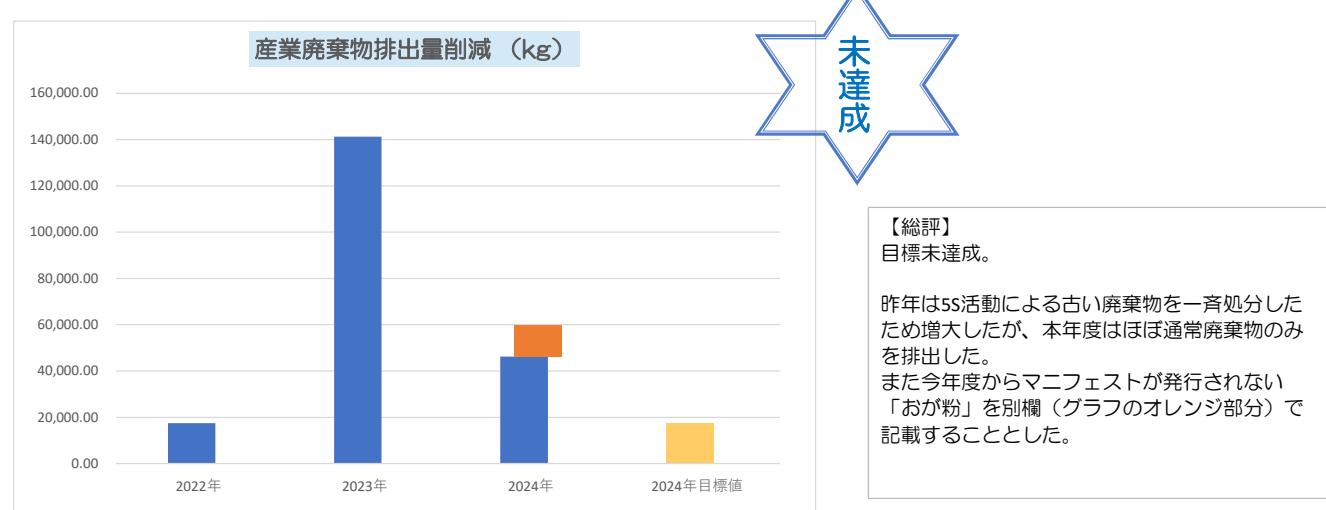
【総評】
目標未達成。

レポート初年度から「業務上?弥富工場の数値のみを記録する」こととなっていたが、詳細な理由が不明なため本社使用量も合わせた数値に変更する。
次の三カ年の目標値を再検討。

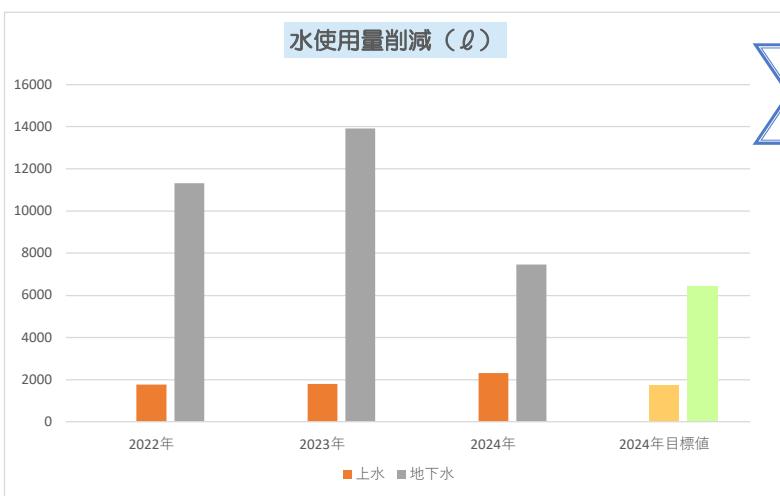
項目	単位	2022年	2023年	2024年	2024年目標値
液化石油ガス	LPG(kg)	21.50	24.01	20.00	15.74



項目	単位	2022年	2023年	2024年	2024年目標値
一般廃棄物排出量削減	kg	193,723.00	204,638.00	223,162.00	319,000.00



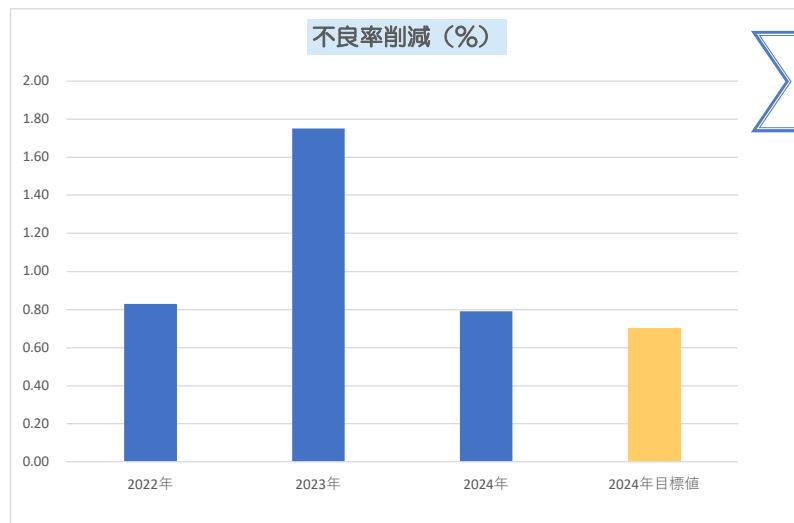
項目	単位	2022年	2023年	2024年	2024年目標値
産業廃棄物排出量削減	kg	17,455.00	141,280.00	46,280.00	17,280.00
おが粉排出量	kg			13,600.00	



【総評】
上水・地下水ともに目標未達成。

上水は新休憩室棟設置により使用量が微増した。
地下水は前年度から手順の見直しと教育が行われたため排出量は通常に戻っていたが、
2025年4～6月に発生したボイラー配管破裂などの不具合により無駄な排出が発生してしまった。（復旧済み）

項目	単位	2022年	2023年	2024年	2024年目標値
水使用量削減	m³				
上水		1,766.00	1,803.00	2,319.00	1,740.00
地下水		11,320.00	13,920.00	7,463.00	6,410.00



【総評】
目標未達成。

大きなクレームもなく、不具合報告と再教育を行っていたことから大きく削減はされたが未達成。
不良原因の接着不良、異物混入など防ぐための教育と2Sが必要。
品管としては本社工場での不良1%未満を達成したい（本レポートの記録は本社・弥富工場の合算）。

項目	単位	2022年	2023年	2024年	2024年目標値
不良率削減	%	0.83	1.75	0.79	0.70

9. 環境経営計画の取り組み計画と評価①（2024年7月～2025年6月）

策定日： 2022年7月1日

更新日： 2024年7月10日

取組結果評価基準：◎よくできた ○できた △一部できた、できていないときがあった ×できなかった

目標課題	取組項目	取組項目	チェック方法	実施時期	担当 本社	担当 弥富	取組結果	評価・来期への対策
管理部・営業部	電力使用量の削減	節電	1. 昼休み・不使用時の消灯	日常点検/都度デスク・部屋の使用確認し消灯	毎日		◎	事務所全体で取り組めた
		エアコン温度管理	2. 冷暖房の設定温度遵守 室温 冬季 20°C～22°C 夏季 26°C～28°C	日常点検/リモコン近くに適正温度を明記しそれに即しているか確認する	毎日	渡辺 花井	◎	弥富は事務所不在が多いが、オンオフを頻繁に行うより付けたままの方がいい。
		OA機器適正管理	3. OA機器の退社時の電源オフ	日常点検/退社時に電源の確認する	毎日	成田 花井	◎	事務所全体が意識していたと思う
		エアコンフィルター清掃	4. エアコンフィルターの定期清掃	【エアコン清掃時チェックシート】記入	毎年6・12月	有馬 花井	○	実施予定期とずれた（6⇒8月）
	水使用量の削減	節水の実施	1. 蛇口を大きく開かず過多な量を使わない	社内掲示板にポスター掲示	毎日	有馬 有馬	◎	事務所・トイレの水道は問題なし
			2. 蛇口を固く締める。閉め忘れに注意する	社内掲示板にポスター掲示	毎日	有馬 有馬	◎	閉め忘れ等特になし
			3. 水漏れチェック（水道メーター、請求書確認）	【請求書】で使用量と金額確認（経理）	奇数月	有馬	○	冬場に工場の水道管が割れたが早期対応ができた。
			4. 水道・水道管からの水漏れ早期対応	蛇口・配管にトラブルがあれば担当者（有馬）に報告	都度報告		有馬	◎
	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	1. コピー用紙裏紙使用の推進	社内資料用印刷はミスプリントの裏紙使用	毎日	成田 有馬	◎	古い書類なども裏紙として利用した
			2. 個人のごみはなるべく持ち帰る	社内掲示板にポスター掲示	毎日	成田 有馬	○	昼食ごみはなるべく持ち帰るよう社内で検討が必要
			3. ゴミの分別の徹底	社内掲示板にポスター掲示	毎日	成田 有馬	○	5S活動でゴミステーションの改善中
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	1. エコドライブの推進	車内や社内掲示板にポスター掲示	安全運転協議会より資料が来たら	有馬	○	喫煙所にも掲示した
		アイドリングストップの実施	2. 燃費チェック	【走行距離・給油チェックシート】記入（使用者）	給油時に記入し年度末に取りまとめ	運転者	○	年度末にまとめて記入したため随時記入が必要
				【請求書】で使用量と金額確認（経理）	毎月初/請求書確認時	有馬	○	特に問題なし
		車両運行管理の実施	3. 車両点検 オイル交換・タイヤ空気圧チェック	ガソリンスタンドで給油時にチェック依頼	毎年6・12月に主な使用者に通達	有馬	△	半年に1度オイル交換の指示を行うようルール決めを行う
環境配慮	事務用品等のグリーン購入	1. エコマーク・グリーン商品の購入率を上げる	アスクルで購入実績を確認し率が低ければ該当商品を選定	随時	渡辺 成田		○	定期購入品は対応済み。新規購入時は可能な限り対象商品を選定する。
コミュニケーション	環境安全衛生推進委員会・各部会議の開催	1. 隔月で環境安全衛生推進委員会を開催。 部門会議で通達し全社で議題に取り組む	【委員会・部門会議議事録】を作成する	環境安全衛生推進委員会：偶数月開催 部門会議：毎月開催	環境安全委員会 全社員	◎	議事録参照	
	避難訓練の実施	2. 避難訓練を実施しアンケート等で改善点を確認。	【防災訓練計画表】作成し、訓練後アンケート取りまとめ発表する	毎年10月ごろ開催	有馬	○	工場内の危険個所と避難ルートの確認実施	
	近隣からの苦情対応	3. 環境に関する苦情の記録と対応	【コミュニケーション記録】に情報元、状況、対応を記録	随時	有馬	○	苦情〇件	
	地域活動の実施	4. 近隣のゴミ拾い、イベント開催などを行う	【コミュニケーション記録】に記録	毎年3～4月ごろ開催	有馬	×	開催できなかった 5S活動の一環として開催できないか検討する	

9. 環境経営計画の取り組み計画と評価②（2024年7月～2025年6月）

策定日： 2022年7月1日

更新日： 2024年7月10日

取組結果評価基準：◎よくできた ○できた △一部できた、できていないときがあった ×できなかった

	目標課題	取組項目	取組項目	チェック方法	実施時期	担当 本社	担当 弥富	取組結果	評価・来期への対策
製造部	電力使用量の削減 退社時電源チェック	製造設備の適正管理	1. 個室・不使用時の消灯、電源オフ	日常点検/都度設備・部屋の使用確認し消灯	毎日	藤本	花井	◎	不使用時の電源オフ定着しています
		コンプレッサーの適正管理	2. 機械・コンプレッサー等の電源オフ	日常点検/退社時に電源の確認する	毎日	藤本	花井	◎	不使用時の電源オフ定着しています
		3. フロン漏れチェック	【始業前チェックシート】の該当箇所に記入する	毎日	藤本	花井	◎	始業前チェックが日常活動になりました	
	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	1. 工場で排出されたゴミ以外の削減	社内掲示板にポスター掲示	毎日	藤本	花井	○	どうしても個人のごみの排出がある。持ち帰りの意識を高めるよう指導したいです。
		産業廃棄物の削減	2. 産業廃棄物の分別	ゴミ収集所に明記されたフレコン・ボックスに分別されているか確認	毎日	藤本	花井	○	勉強会を行ったが定着まだ。
			3. マニフェスト記録管理	【産業廃棄物排出量取りまとめ】記入	マニフェスト到着毎	有馬		◎	管理できており県への報告も怠らなかった
	環境配慮	騒音作業	1. 各工程の指定箇所の騒音係数測定を行う	【騒音、照度記録用紙】測定値記入	毎年4・10月	藤本	花井	◎	実施に問題なし。 環境安全会議で実施確認することにより記入漏れがないようにした。
		作業場の照明	2. 各工程の指定箇所の照度測定を行う	【騒音、照度記録用紙】測定値記入	毎年4・10月	藤本	花井	◎	
		フロン点検	3. エアコン室外機・コンプレッサーの点検を行う	【フロン点検チェックシート】記入	毎年2・5・8・11月	立松	高橋慎	◎	実施は問題ない。
		資材・消耗品のグリーン購入	4. エコマーク・グリーン商品の購入率を上げる	アスクルで購入実績を確認し率が低ければ該当商品を選定	随時	渡辺	成田	○	業務上変更が難しいものもあり事務用品ほど進められない
			5. 住宅用基材はF☆☆☆☆に登録	今後も登録を継続する。品質向上を課題に	3年に1度更新（次回2026年）	管理部			
			6. FSC認証商品の購入	輸入商品は100%FSC認証商品を購入する	FSC認証審査と輸入書類で確認	管理部・機能素材部		◎	手続は問題なし。購入率の上昇は難しい

※F☆☆☆☆製品とは建築基準法改正により建築材料につけられることになった等級区分で、4段階ある等級の最上位で使用に制限のないものである。

10. 環境関連法規等の遵守及び評価の結果

法規名	最終改正日	遵守事項	具体的な内容	遵守確認日	書類の保管期間
・大気汚染防止法	2020/6/5	ボイラー設置・変更・廃止届の保管	ボイラー設置届の保管確認。	2025/6/30	永久
		ボイラーのばい煙検査 年2回	壽化工株により実施。壽化工から実施日連絡あり。 排ガス測定計量証明書で日付確認。	2024/11/29 2025/5/8	3年間
		汚染負荷量賦課金の申告 年1回	毎年4月に環境再生保全機構に提出。	2025/4/1	5年間
		大気汚染物質排出量総合調査票の提出 年1回	毎年7月に環境庁に提出。	2024/7/20	5年間
・悪臭防止法	2024/6/17	ボイラーのばい煙検査 年2回 (同上)	(同上)	(同上)	(同上)
		地域住民からの苦情等	コミュニケーション記録の作成。	随時	3年間
・ダイオキシン類 対策特別措置法	2022/6/17	ボイラー燃えがら検査 年1回	壽化工株に毎年3月に依頼し実施する。 燃えがら分析結果をケイ・サポートにメールで送付する。	2025/3/10 2025/3/14	3年間
・産業廃棄物処理法	2012/3/27	マニフェストの管理	マニフェストの保管、B~E表の日付確認。	随時	5年間
		産業廃棄物管理交付等状況報告書	海部県民事務所に毎年4~6月に提出。郵便にて連絡あり。	2025/5/15	5年間
		契約書、許可証等	処分業者との契約書の確認。	期限通り	期限通り
・浄化槽法 (本社1箇所、弥富2箇所)	2024/4/1	法定検査 年1回	毎年11月に浄化槽協会が実施。結果書を保管する。	2024/11/19	3年間
		定期検査 年3回	3、7、11月に浄化槽協会が実施。記録表を保管する。	2025/3/24	3年間
		定期清掃 年1回	毎年5月に浄化槽協会が実施。清掃記録表を保管する。	2025/5/20	3年間
・騒音規制法	2022/6/17	地域住民からの苦情等	コミュニケーション記録の作成。	随時	3年間
・振動規制法	2022/6/17	地域住民からの苦情等	コミュニケーション記録の作成。	随時	3年間
・工業用水法	2022/6/17	井戸水の使用許可申請 3年に1回	環境局より資料郵送あり、海部県民事務所に提出。	2024/12/6	3年間
		上記の使用状況報告 年1回	毎年4月上旬に海部県民事務所に提出。	2025/4/4	3年間
		水質試験 月1回	壽化工株により実施。試験成績記録を保管。	2025/5/15	3年間
・フロン排出抑制法	2020/4/1	業務用エアコン、エアドライヤーの簡易点検 3か月に1回	2、5、8、11月に環境安全衛生委員会にて実施。	2025/6/20	機器廃棄後 3年間
・消防法	2024/4/1	指定可燃物（木材）保管届出書	届出書の保管確認。	2025/6/30	永久
		火災報知器・消火器の定期検査 年1回	毎年8月に海部南部消防が点検。結果報告書の保管。	2025/6/30	3年間
・グリーン購入法	2023/2/24	合法木材（クリーンウッド法）の購入推進	材料・製品の購入。証明書及び請求書等で確認。	随時	5年間
		合法木材（クリーンウッド法）への理解	毎年3月頃「合法木材・CW法研修」への参加。	毎年3月	永久
		FSC-COC認証の取得 年1回審査	毎年5月頃にSGSジャパン株により審査あり。	2025/6/30	永久
・愛知県環境基本条例	2001/4/1	アイドリングストップ義務 社員への指導	社用車にアイドリングストップの資料を設置。	2025/6/30	永久
・廃棄物の適正な処理 の促進に関する条例	2003/10/1	産業廃棄物の処理委託先の確認 「優良」事業所は不要で、今はエコアースのみ	毎年12~1月に「愛知県廃棄物の適正な処理の促進に関する条例に基づく確認」のチェック表に記入してもらう。	2025/1/22	5年間

上記以外の環境関連法規等の遵守評価結果、遵守を確認。

また、今年度も関係機関からの指摘・指導は無く、訴訟等はありませんでした。

11. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・

指示の結果

当社の経営理念には、「環境との調和」が謳われています。この「環境」には、「経営環境」、「事業環境」、「地域環境」、「地球環境」など、自社を取り巻く外部環境全般が含まれます。つまり、営利活動とエコ活動や地域貢献を別のものとして取組むのではなく、事業の目的にバランスよく調和させなければならないと考えています。

そこで、当社の「経営指針書」においては、それらを経営目標に統合させる目的で、「当社のSDGsの取り組みについて」として一覧表にまとめています。エコ活動や従業員の人権向上など、現在は52項目の実施項目が掲げられていますが、およそ半分の項目において目標が達成できています。また、目標が達成できていない項目においても取り組みが進んでいるものが多く、ターゲットイヤーである2030年までに実施完了できるよう計画をしています。

こうしたSDGsに紐づけた継続的な活動と、(一社)中部産業連盟様のコンサルティングに基づく5S活動との相乗効果により、前年度はCO2や一般廃棄物の排出量で劇的な削減を達成することができました。一方で、カイゼンを行う小集団活動への従業員の参加状況にはかなりの温度差があり、全員参加型のカイゼン活動になっていないという状況が見られました。この状況を変えるべく、第73期は職場ごとに活動リーダーを決め、小グループ員全員が目標設定や活動進捗に関与するようにしていきます。また、カイゼン活動の見える化を進め、成果があったグループには褒賞を与えるなど、社員の意識改革を行っていきます。

第73期の売上高は前期比▲7.9%と前年に引き続き厳しい結果となりましたが、少子高齢化の進展により、今後も住宅着工戸数の減少傾向は継続すると考えられます。この課題を克服するために、当社では昨年度より機能素材事業部を設置し、非住宅関連分野の市場開発を経営の最重点テーマとして進めています。当社で取り扱いをしているFSC認証材や国産材関連商品、また、エコアクション21への取り組み状況などを評価していただき、徐々にですが新規のお取引先様が増えつつあります。この活動への真摯的取り組みを通して、自社の変革を推し進め、社会的課題の解決に応えられる企業になるように事業運営をしていきます。

アサイウッドマテリア株式会社
代表取締役 浅井勇詞
見直し実施日：2025年6月30日

12. 全体レビュー

見直し項目		変更の必要性	問題点	指示・改善事項	改訂日	承認者
1	組織の概要	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		従業員数、対象期間訂正 (毎年)	2025/6/30	浅井
2	経営理念	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			2023/6/30	浅井
3	環境・品質方針	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			2023/6/30	浅井
4	環境経営対象組織図	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		来年度より事業再編後の組織 図に変更	2025/7/1	浅井
5	環境経営の役割・責任・権限	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		EA21審査時に微細な変更済	2024/3/22	浅井
6	SDGsへの自社の取り組み	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		従業員で内容を議論し実状に 合った目標を立てる。	2025/6/30	浅井
7	環境経営目標	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		電気使用量内に環境価値電力 の量、産業廃棄物排出量内に おが粉等のリサイクルの量を 記載できる欄を作成した。	2025/6/30	浅井
8	環境経営目標及びその実績	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			2025/6/30	浅井
9	環境経営計画及び取組結果と その評価	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>			2025/6/30	浅井
10	三カ年計画	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		2025年度レポート作成時に改 訂する。	2026/6/30 予定	浅井
11	環境関連法規等の遵守及び 評価の結果	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		必要書類のチェックリスト化 を行った。	2025/6/30	浅井
12	代表者による全体の取り組み状 況の評価と見直し・指示の結果	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			2025/6/30	浅井